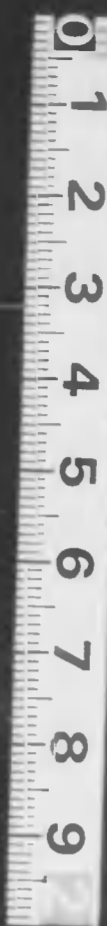


寫眞  
週報

編輯局報情

二十二月廿二日・第三二二號・十七



荒鷲たちは  
 凜烈たる高空の寒氣をついて  
 今日も爆撃行の操縦桿を握り  
 かじかんだ手に索敵行の電鍵をうつ  
 炭とぼしくとも  
 ストリーブ スチームはなくとも  
 何のこれしき——  
 われらまた赤々と戰意を燃やし  
 工具を、ペンを、鋏をしつかと握り  
 身に迫る決戦の冬のきびしさを  
 ガツと全身で受止めよう

「時の立札」は他へ轉載その他に御利用下さい

長くも天覽並びに天覽の榮には

第二次大東亞戰爭海軍作戰記録畫



北邊連作

提督ノ最期



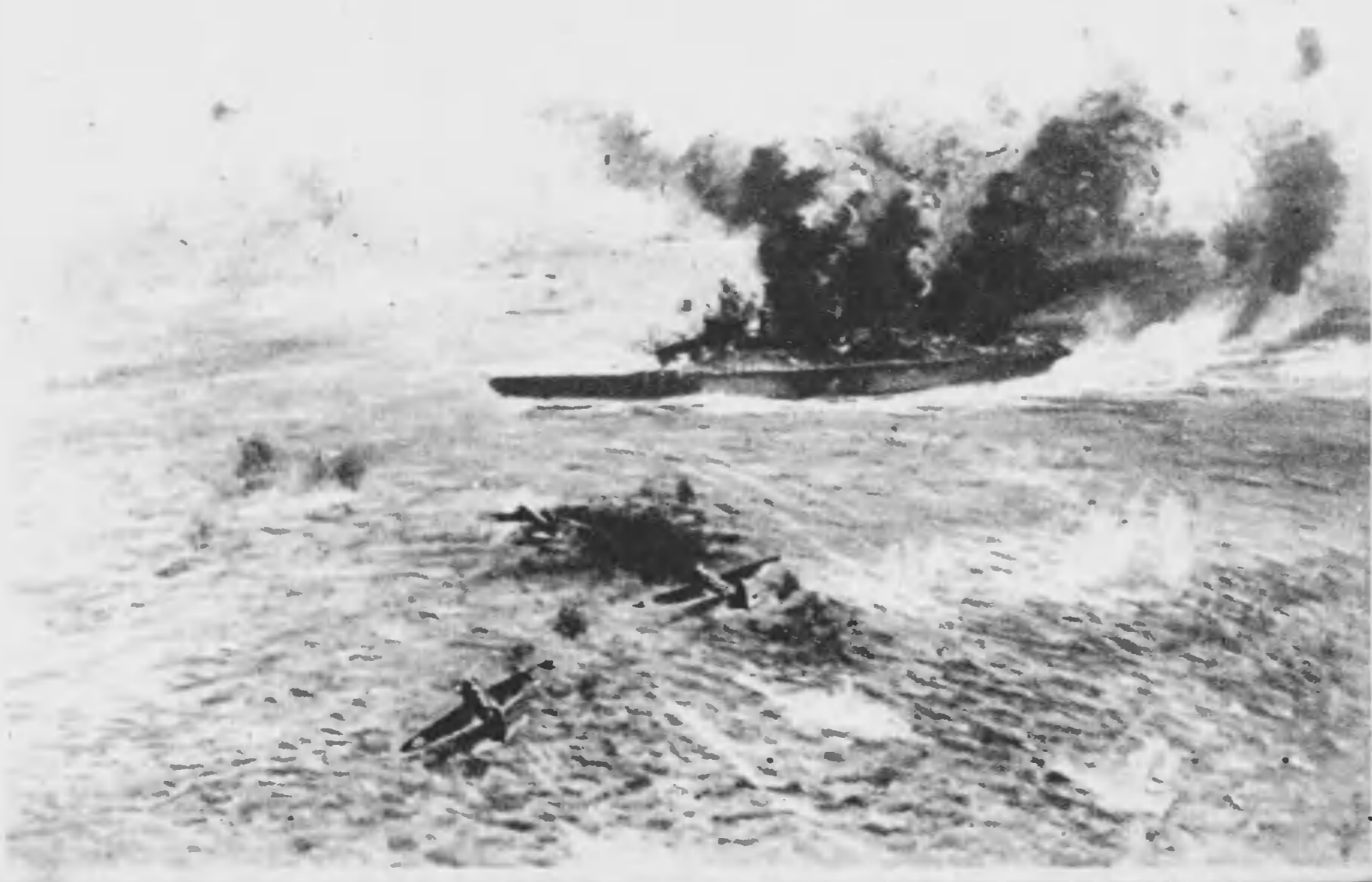
田島治作

シモン島に於ける兵米ノ未熟



海軍密下本部隊「メナド」奇襲

宮本 三郎作



珊瑚海海戦

中村 研一作

長もく天覧並びに台覧の榮はゆ

長くも 天皇、皇后兩陛下には、さる十二月五日、宮中において第二次大東亞戰爭海軍作戦記録畫  
合計二十點を、天覧並びに台覧あらせられ、洋上第一線に勇戦するわが海軍部隊の敢闘ぶりを親しく  
觀せられて、懐愉奇烈な決戦場裡を偲ばせ給ふたと拜承する  
あたかもこの日 天皇陛下には、また、第六次ブーゲンビル島沖航空戦の捷報至り、幕僚長より  
親しくその戦況を聞召され、殊のほか御満悦あらせられた御砌りとして、各記録畫には殊に御感深く御  
目をとめさせられたと承るは畏き極みである  
なほ天覧、台覧の榮にはゆる記録畫は、十二月八日より東京上野の都美術館で開催中の第二回大東  
亞戰爭美術展にも特別出陳されてゐる

「ルンガ」沖夜戦



清水 夏雄作

『ニューギニア』戦線（密林ノ死闘）



佐藤 敬作

駆潜艇ノ活躍



藤本 東一真作

聯合艦隊司令長官 海軍大將 山本五十六

横江 嘉純作  
(大東亞戰爭美術展)





# 新しい年は勝ちぬく年

一月の常會

## 必勝の作戦計画を實行へ

戦ひのうちに三たび新年を迎へることとなりました。さて、この新しい年はどんな形を迎へることになりませうか。まづ予想される本年の敵反攻の双は、ニューブリテンへ、ニューギニアその他のわが占領地域へ、ギルバート方面から内南洋へ、つひは一氣にわが本土爆撃にと、いづれにせよ昨年と比べてさらに一層鋭いものがあると思はれます。しかしながら、敵が如何に總反攻を呼ばせよう、我は斷乎、これらの反攻意圖を撃退し、さらに進んで敵を徹底撃滅するのみです。どんな

## 率先女挺身隊参加の

指揮官機を先頭に、雲霞のやうに押寄せ敵機群へ突込み、或いは敵艦隊に敢然と突撃する荒鷲を思へば、私たちが戦場に働くものは、燃れても止まぬ氣持で一杯です。もとより女と生れた悲しさは、決戦場へ立てませんが、せめて一機でも多く送り出し、勇士の方々に思ふ存分の働きをして戦うと必死になつてをります。たゞ私たちにとつて氣がよりなのは後援部隊です。先日新聞で見ますと、こんどの女學校卒業生には上級學校に進學希望者のみ多く、女子挺身隊に参加を希望する人が案外に少いとかいふこと



敵をうちぬくこの部品——仕上げまでの時間さへもどかく女子工員はじつと見入る



## 兵器の増産に挺身しよう

ガダルカナルからブーゲンビルにかけて、或はミッドウェイ諸島へと敵の繰返す反攻作戦の執場は、常々我々の敵の傲慢極まる挑戦であり、その態度が勇猛な将兵の善戦勇戦の前に完膚なきまでにたゞきつぶされてはゐるが、目的の一部分は必ず達してゐるのです。この前線將兵を切齒扼腕させる一部分こそは敵の狙ふ量によるものといつてもよいのです。常にわれに數倍、十數倍する敵勢を撃退し、あの大戦果をあげてくれた荒鷲達が、なほ一機あれば止めの一撃を、撃破した敵艦上に切齒したことがなかつたでせうか、まづ飛行機を、そして、量には量をもつて當るのみです。これこそわれら國民に課せられた責任であり、世間の急務なのです。資材も工場も準備は出来てゐます。二十四時間ぶつ通しの生産も開始されようとしてゐます。必要なのは人手です。飛行機工場は新鋭部



## 食糧は絶対自給自足だ

今年の食糧事情を見越して、昨年二回にわたつて緊急食糧増産対策がたてられました。これはいろいろの困難を克服してせつせつと實行にうつされてゐますが、まだく目標には遠いのです。この際、米麥三百六十万石の大増産を目ざす土地改良は何としてでもやりとげませう。農村の人々の死守すべき第一線がそこにあるのです。

土地改良の詳細については週報十一月二十四日號を参照下さい。本誌も来る一月十二日號で詳しく解説を試みる予定です。

## 都市疎開に協力しよう

敵の反攻作戦から考へても、戦局の動きからみても、本年こそは敵艦の本土空襲に重要な都市に對する空襲は必至の情勢にあると思はれます。そこでこれに對しては、國民一億が決死の覺悟をもつて國土を守りぬくといふ固い決意で、防空活動に従事しなければならぬことはいふまでもないのですが、一方、爆撃目標となる主要



都市を防空都市としてつくり直し、武装強化してゆかなければなりません。ことに最近のハンブルグ、ベルリン等の大空襲にみられるやうに、飛行機、爆撃機の性能の向上したと、空襲方法が大規模化し徹底したとことから考へて、いよくこの必要と緊要さが増してきたわけで、これに對する具體的な方法として、都市疎開を早急に實行する必要が生じたので

この實施については、いま種々の對策や方法が講ぜられてゐますから、新年早々にいよいよ實行されてゆくことになつてゐますが、そのためには何といつても全國國民の協力が必要であり、これがなくてはならない重要な實施は出来ないので、ここで、われわれがどんな態度で、どういふやうに協力しなければならぬかといふことも、この常會で積極的協議、實行していただき、以下、參考として疎開の方法等を簡単に解説してみませう。

## 疎開はどんな方法で またどんな効果があるか

都市疎開といふのは、要するに防空都市を作るためといふことは前にも書きました。が、では、そのためにはどんな方法があるかといふと、まづ空襲を多くすること、都市の多過ぎる人口を削減すること、この二つです。これまでも極力やられてきたのですが、これは都市がこれ以上大きくなることを許さずといふだけで、積極的に空地をつくつて空地と建物をまはらにし、空襲の被害を出来るだけ少くしようといふところまで進んでゐなかつたのです。そこでこれをいま一層積極的進めて、現在ある建物をとりぞき、集中されてゐた人口を地方へ移して、疎開した形によ

## どんな都市やどんな人たちが疎開することになるか

では、どういふ地方が疎開されるかといふと、京濱、阪神、名古屋、北九州の四地域にある重要都市で、京濱では、東京都の區部、横濱市、市、神戸市、名古屋地域では、名古屋市、北九州地域では、門司市、小倉市、戸畑市、若松市、八幡市等が先づとり上げられてゐますが、この區域外でも、これにくつした都市、或はこれに次ぐ都市でも、或る程度の疎開も行はれるわけ

朝の目と写る戦時生活—設置で機織り女子の特性がこゝで十分に活用されてゐる



左書の前頭上に炸裂する砲弾—兵隊が、戦時生活に戦を覚悟してゐる



女子で出来る飛行機—全国の女子が轟起すれば、南の大洋を無事で飛ぶことも出来よう



うに、また費用等もかからないやうに心掛  
けませう。また皆でこれらの人々の荷物を  
歸まで運ぶなど、心をあはせてお世話しま  
せう。また移転先についても、家のない際  
ですから、どうなることだらうかといふ不  
安もまるごと思ひますが、これはできる  
だけ、各自の準備、または縁故先で家を獲  
得するほか、役所方面でもできるだけお世  
話をし、特に地方の人々は家や空間の提供  
運動をやつて、温かく受け入れて上げて下  
さい

地方の人々はこの際、疎開の行はれる都  
市に仕込んでゐる縁故者を積極的に引き取り、  
地方への移転者を心からお世話していただ  
きたいです

な、都市の疎開についてはいろいろの  
問題、例へば、疎開先への轉送、輸送等  
の問題については、それ／＼必要な措置が  
講ぜられてゐます。いづれにしても疎開し  
て地方にゆくことは、空襲から逃避するの  
ではなく、積極的に戦力増強のためとする  
國民の戦時配置なのです。疎開する人  
も、迎へる人も、留まらざる人も、防空警備を  
構築し、さらにいんて戦力増強のための  
戦時配置である點を認識して、十分の協力を  
していただくことが第三年を必勝の年と  
して本土を守りぬく途なのです

(倉 熊 猛志)

新兵の落下傘—新戦線に天降る目を思つて、女子工員は丹念に白粉を塗り上げてゆく

空法では一定区域への轉居を命じ得るこ  
とにはなつてゐますが、原則としては、こ  
の法令はなるべく發動しないで、國民の協  
力によつてやる建前になつてゐます。では  
どういふ人たちに疎開してもらはなければ  
ならないかといふと、建築物の疎開に伴ふ  
人、それから各種團體とか、絆制機關とい  
ふ施設の疎開に伴ふ人、それに一般的  
にいつて、疎開区域内に現在居住する必要  
の少ない人、例へば 財産収入ま  
たは仕送りによつて生活してゐる者、主人  
が遠くに出てゐる留守宅が東京にある等と  
いふ人、企業準備等によつて轉居する人、  
及びその家族といつたやうな人たちはぜ  
ひ疎開していただきたいのです

さて、これらの人々が疎開するには、移  
轉先とか、荷物の運送とか、いろいろの問題  
もあつてくるのですが、これに對しては  
國家、公共團體は お世話をし  
ます。また、轉出する町内會、隣組と  
か、轉出者を受け入れる地方の縁故先など  
では、出来るだけ親切にお世話をするべき  
ですが、主眼は國民全部で防空必勝態勢を  
確立するためだといふことを認識して、各  
自が協力してこの仕事を完成するやうに心  
掛けて貰ふことが最も必要なことです。國  
家としても或る範圍に限つて、若干の移轉  
奨励金を交付することになるはずですが、し  
か、あくまでも國家の要請に應じて疎開  
するのだから、出来るだけ國家のご迷惑を  
かけずに自力でやらうといふ氣持でこの  
政府の親心を受けていただきたいのです

方法で行はれるか

疎開は防空必勝のため、  
移轉には積極的な協力を

疎開の實行には輸送が大きい問題になり  
ます。このため輸送の申込を受け付ける機關  
を一本にし、荷造、運送のお世話をいたし  
ますが、轉出者も疎開は香気な平時の移轉  
ではなく、戦時配置のための移動だといふ  
ことを頭に置いて、できるだけ身の廻りを  
整理して、決戦下の輸送力を妨げないや  
うな方法があり、第一に疎開空地帯で適當な  
防空區劃をつくり、第二にさらにそれに相  
當の疎開空地を配するといふ方式です。そ  
してこの空地帯なり、空地に建つてゐる建  
物をとり除いて疎開するので、これらに  
選ばれるのは、密集工場地帯のやうな危険  
な地域から順次やつてゆくわけですが、その  
方法は防空法で疎開空地帯、疎開空地を指  
定し、その地区内の建築物を防空法によつて  
とり除きを命じてゆくので、相當強力で、  
また急速に實行されることになつてゐま  
す

その方法は、まづ内務大臣が地區を指定  
すると、その地區内の家屋について都長官  
なり、府縣知事がとり除きの命令をその持  
主なり管理者に出す。さうすると所有者が  
これを取除くははならぬことになるわけ  
ですが、それではこの事業が急速にゆかぬ  
ことになるので、情況によりその建築物を、都  
府縣で譲りうけて實際の除却事業は都府縣  
でやるといふわけになるのです

この際の移轉費や損失の補償の問題は十  
分考慮されており、いろいろな便宜も盡さ  
れます。なほ移轉にあつたつては、この際、  
都市疎開の趣旨にそふやう、できるだけ地  
方に轉出していただきたいのです

# 凍る泥田挑む

土地改良と  
学生の協力敢闘

今年度の食糧の大増産を目ざして全国各地に土地改良の猛運動が展開されてゐるとき、学生もまたこの重要な一翼を擔つて、凍る泥田に熱と意気の熱闘をくりひろげた。

東京文理科大学および東京高等師範学校でも十二月六日から約一ヶ月にわたつて、栃木縣下の芳賀、塩谷、那須の三郡十ヶ町村に學生を動員して、那須おろしの吹風を物ともせず、暗渠排水工事の作業をつづけてゐる。出動學生は、留守部隊の高師一年生をつぞいだした總數九百名で、各農家に分宿、河原春作學長をまじり、田中寛一博士、諸橋轡次博士等、老練に熟しながら、自らシャベルを持つて陣頭指揮に立つてゐる。

同校學生生徒は、今秋も同じ町村に招切りの勤勞作業に出て、その眞摯誠實な作業や生活態度によつて、同縣下の人々に絶大な感激をあたへた。今度の出動は地元の人々が栃木縣農會を通じて、文部省および同校に再度懇請してきて、その結果、實現をみたものであ

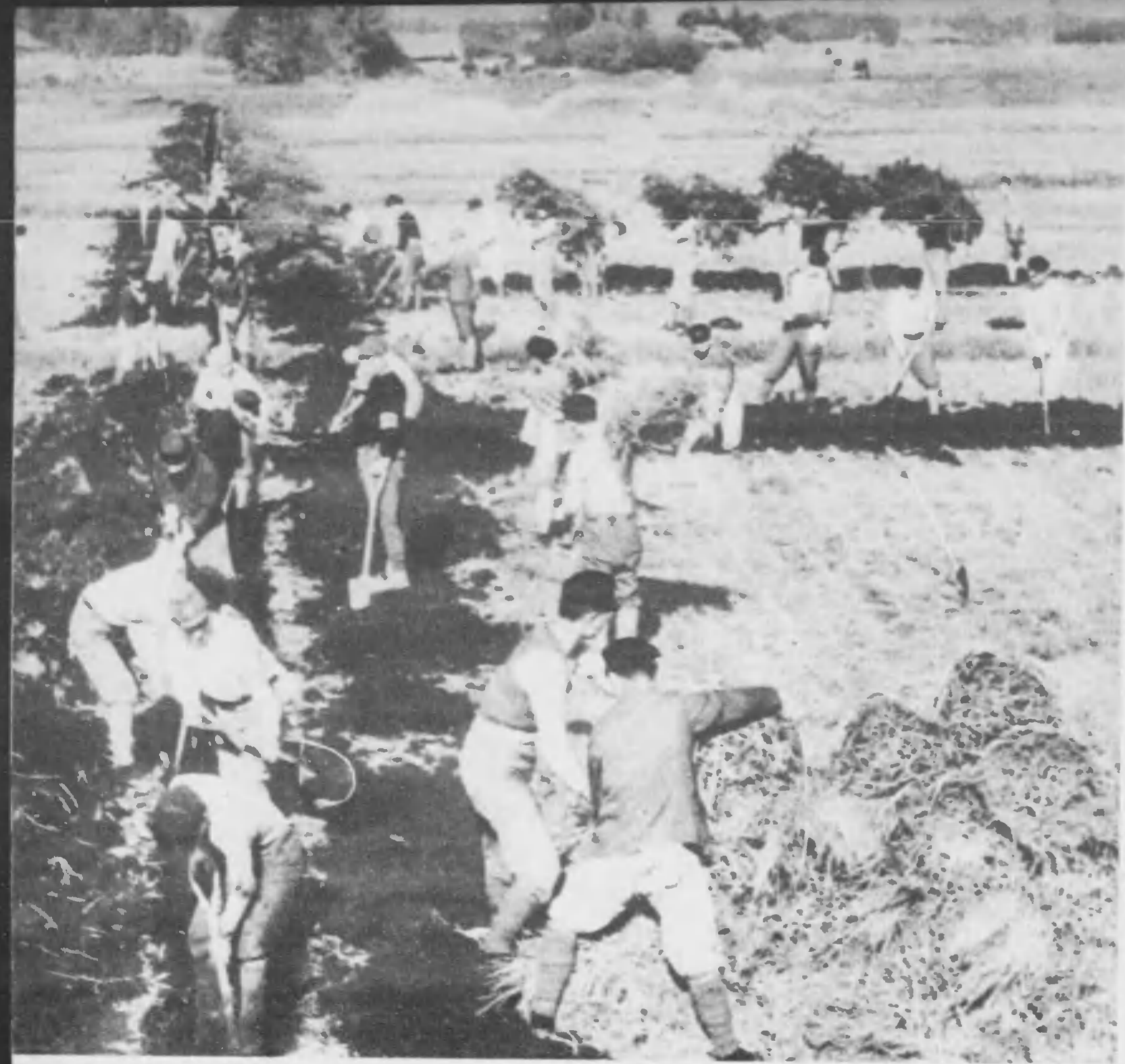


朝、作業前にはまづ雪をふんで、おるかに高根を築き、おろしの手も、いまだにノットにいそがしい。

この勤勞作業は、相當長期にわたるので、學業のおくれることを防ぐため、三日に半日だけ村の寺や集會場などを利用して、授業をつづけたり、この機會を利用して村民にも新しい知識を與へるため、教授たちが、むづかしい専門知識をやさしくして、とき／＼講習會や座談會をひらく等、農村文化の向上にもつづいてゐる。



早朝（朝）と足がしびれるほどの冷たさだが、泥田に暗渠を掘る作業はつづけられる。



排水用の土管のかはりに、粗葉も切りとつたばかりで、體力減定の頃かつぎのときより重い。

俺たちの手で、力で成るこの作業が、来年は實をむすんで、このわづかな耕地だけでも三十倍の増収がみこまれてゐるといふのだ。



一日の疲れも、あかくと燃えるふろりの火をかこむとき、のこりなく燃えてゆく。外はしん／＼と雪が降りてゐるが、みなのは心は温かくらむ。



# 明くる正しく生きぬきませう

山梨県 決戦國民防犯運動

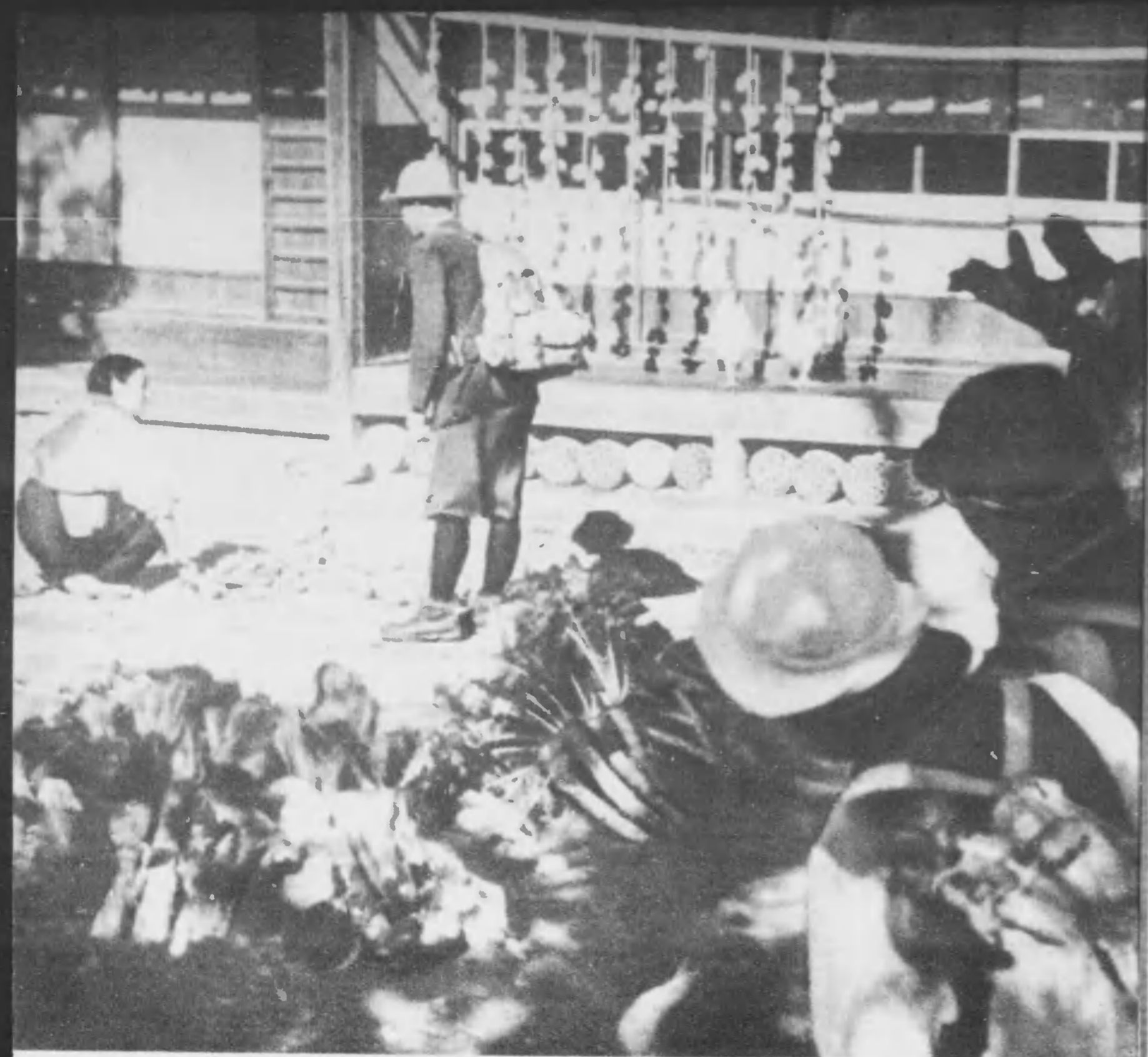


刑事課の射入り公園の庭場に開かれた『青少年不良化防止』の移動展と『國家保護』の紙芝居

防犯の趣旨は村のすみこにまで徹底した。運動の第一日、ハイキングに事なされた買出し部隊は、早くも農家から一斉に閉め出される

或る村の常会へ縣の警察部から、係官が『防犯』の講演に出かけた時、お百姓さんの間から『警部さん、一億圓配置につくといふまじきでも、また殺人だの強盗だのといふ犯罪があるです』と、真面目な質問が出たといふ話  
なるほど戦争が始つてから、國民の誰も彼も自分といふものをふりかへつてみて、俺の思ひはまた足らぬ、俺の力はまた及ばぬと、一生懸命に、たゞ勝つため骨身をけづりつめてきた。その緊張ぶりを反映して聞くも怖しいやうな犯罪は確かに少くなつてゐる。だが、その反面には物のくらしが詰るにつれて詐欺や窃盗の類ひが多くなり、また間取りやデマなどといふ經濟犯、思想犯も漸くふえてゆく向きがみへるからした犯罪はたゞ被害者ばかりの問題ではなく、決戦體制を内部から切崩すお國への反逆行爲として、是が非でもそのあとを根から絶やしてしまはなければならぬ。檢察當局としても悪質のものに對しては嚴罰をもつて取締る一方、法令も統制もみんな勝ち抜くためのものであることを知らせて、犯罪の防止にたゆまぬ活躍を續けてはゐるもの、何しろ戦時下の國民生活はその範圍が廣いので、取締りや罰則ばかりをいくら強化してみたところで、國民全體が進んで法令を守り統制に力を合せるのでなかつたら、その目的を果すことは難かしい

けふは留守宅の一斉検査。留守の看板のやうに錠前を外からかけてある家等が先づ槍玉にあげられる



街を走る自轉車を呼びとめて記名簿に記すものには親切に住所氏名を書いてやる。盜難の豫防に警防員が活躍



目には不逞はないか、賣物みや買物めはと、商業組合員の移動班が街角をお客をとめて經濟調査の店を開く





これは結  
構な買物  
編組長さんが  
買物船さんに  
なつて「みな  
さんこれは勝  
ちぬくお買  
お費! 新年  
には、一萬圓  
のあたりを  
どなたが引き  
ますか」

# 戦心師走



照準器

大東亞戦争漫画日誌  
川石 介造



鬼船にわが病院船を沈ます



国民登録四十五歳までに延長さる



軍糧食糧補給地、常備を完全占領



カイロに突止や猿轡し會談



賞與の日  
「君たち、賞與をもら  
にきて呉れよ」  
「兵隊さんには賞與がな  
いのに、ぼくらだけでも  
らふんでは申譯ありません。  
今日は餘計に働か  
せて下さい」

防壁に休みなし  
「いい、わちも訓練に  
加はらせていただきます」

餅つき  
「餅をついて、餅を食ふんだと  
さ、小父さんぼくらにも一っ  
つかせてよ」



贈問状  
「兵隊さんにお正月のものを送  
るのに、お父さんを送るの  
「あの暑い南方へ雪が送れると  
いいんだけどなあ」



厄掃ひ  
「英史は、いちばん怖い厄、あぶりを殺してくれ  
まよう」  
セン太郎 表



晴漢水工事に  
女子青年も協力  
長野縣 三種橋大  
橋田をわたしたちの  
手で外科手術するの  
です。やがて美田と  
なつて来年の秋から  
は重たい波が金いろ  
にゆれわたること  
せう

★表紙  
劇尖に激水吹き、刺風は猛烈  
正に骨を刺す。しかも寸分の隙  
も見せず、徹として北の通りに  
つくわが關東軍の精銳。大東亞  
の南の海に幾度か米英海軍の艦  
歌呼する時、黙して語らず林の  
如く、日夜官職に即して訓練を  
積み、その威容を中外に誇る。  
かくて大東亞の防衛を全し  
撮影 關東軍報道隊



軍神の家  
三原 東 正己  
真珠灣九軍神の一人稲垣兵  
曹長のお父さんお母さんは  
この秋は人手もかりず、牧  
種に供出に、貴い戦果をあ  
げました



緊めよ生活 戦費!

# 國債 債券

國債の購入に入る代

を利致せまし

大蔵省

|                        |                         |   |   |  |   |  |
|------------------------|-------------------------|---|---|--|---|--|
| <p>寫眞週報<br/>(無断轉載)</p> | <p>昭和十八年十二月廿二日 印刷發行</p> | <p>情報局<br/>東京 都庁一階<br/>水田町一ノ町一<br/>印刷局<br/>東京 都庁町區大手町</p> | <p>定 價<br/>▲特 大 號 の 場 合 は 其 の 都 度 郵 拂 込 金 より 差 額 を 申 受 け ます<br/>▲外 國 郵 送 に 依 る 地 域 差 別 料 共 一 部 十 九 錢<br/>(送料一錢)</p> | <p>申 込 所<br/>全 國 各 地 官 報 通 報 所 及 郵 局 郵 政 貯 蓄 部 新 聞 販 賣 店 書 店 驛 賣 店</p> | <p>本誌採録の寫真中、署名名或ひは提供署名を特記してあるものも、その財団法人寫眞協會の製作によるもので、又、海軍関係の寫真は、海軍省承認第五四二號です。</p> | <p>本誌を回覧に<br/>用いるなど、出<br/>家もだけ有効に御<br/>用下さい<br/>前線慰問にも<br/>またお読みになつた<br/>ら本誌を前線慰問に<br/>送りませう。送附は<br/>内地と同様で封紙<br/>のひは開封にして第<br/>三編と明記すれば<br/>一部一袋です。</p> |
|------------------------|-------------------------|---|---|--|---|--|

(刊行雑誌)A4形規定紙は3号大の日本